平成 22 年度医学展・アンケート（薬学類３年生）集計結果

回答者：31 名

問１．あなたは準備の段階でどの程度参加しましたか？

（１）100%（6 名・19%）　（２）80%（11 名・35%）　（３）60%（13 名・42%）
（４）40%（0 名・0%）　（５）20%（1 名・3.2%）　（６）0%（0 名・0%）

問２．あなたは開催日の２日間でどの程度参加しましたか？

（１）100%（17 名・55%）　（２）80%（9 名・29%）　（３）60%（5 名・16%）
（４）40%（0 名・0%）　（５）20%（0 名・0%）　（６）0%（0 名・0%）

問３．医学展に参加してみて有意義だと感じましたか？

（１）非常に有意義だった（10 名・32%）　**（２）まあまあ有意義だった**（21 名・68%）
（３）あまり有意義でなかった（0 名・0%）　**（４）全く有意義でなかった**（0 名・0%）

問４．医学展に参加してよかったと感じた点はどこですか？

- 他の学科の人と出会う機会になった。ふだんと違うキャンパスで楽しかった。
- 一般市民の立場になって考えることができた！　よかったといってもらえた。薬について自分もより詳しくなった。
- いろんな人と話せたこと。病院に実際にかかっている人もいたので、いろいろといい話ができた（一般の人の悩みなど）。
- 他の学部のことが知れた。他の学部の人と関われた。
- いろんな人（参加者や企画者）とたくさん接する機会があったところ。
- 実際に患者さんとふれあう機会となれたこと。自分がまだまだ知識やコミュニケーションが不足していることがわかったこと。
- 一般の方々に薬について知ってもらうため、いろいろ言葉や実験の内容を考えて多くの人に伝えることができたこと。
- 他の分野でどのようなことをしているか知ることができた。実際に来てくれた方と話をすることができた。
- 医学についての知識が増えた。
- 薬についてあらためて勉強し、一般の人と触れ合えたため。
- 実際に患者さんにあたる人達の意見や考えに触れられたこと。脳年齢など実際に自分の気になることを体験できたこと。
- あまり会うことのない医学部の人たちと少し交流できたのでよかった。
- いろいろなことを知ることができた。
- 一般の人々への医療への関心が意外と高いことが分かったこと。
- 勉強になった。

・ お客さんと話していると思っていたよりも楽しかったし、コミュニケーションの練習ができたと思う。
・ いろんな地域の方と話ができた点。
・ 一般の方と話す機会があってよかった。他のブースを見ることもできてよかった。
・ 一般の方に喜んでいただけたこと。
・ 普段話さないような一般の人といろいろ話ができた。
・ 様々な催し物を見ることができた。
・ 多くの人と接することができた。
・ とても熱心でやる気に満ちた医学生と出会えて仲良くなれた点。自分も見習わなきゃって思いました。出会った人みんな素晴らしかったです！
・ 中途半端な知識では通用しないと気がついたこと。
・ 自分たちによっては簡単な実験でも、お客さんに見せたら驚いてもらえたりうなずいて反応してくれたとき、やってよかったと思えた。
・ いろんなブースをまわれた点。普段思わない疑問をぶつけられた点。

問５．薬学類が医学展に参加することについて、今後も続けるべきだと思いますか？　その理由も教えてください。

（１）絶対続けるべき（6 名・19%）　**（２）続けた方がよい**（21 名・68%）
（３）続けない方がよい（2 名・6.5%）　**（４）絶対やめるべき**（0 名・0%）
（５）その他（　　）（0 名・0%）　**無回答**（2 名・6.5%）

理由：

回答（１）
・ お客さんが自分の気になる身体的な異変に気づき、疑問点に答えられる場として重要だと思う。
・ 勉強になるから。
・ 楽しかった。
・ 実際に患者に対して話すという練習にもなるし、そうでなくてもコミュニケーションについて学ぶことができる。

回答（２）
・ 市民のためにわかりやすい説明を、ということから自分達自身の理解も深まったし、一般の方々と話をするよい機会となり、薬剤師になる上でよい練習となった。
・ とても有意義な時間を過ごせたから。将来に役立つ、とてもいい経験になったと思います。
・ 大変かもしれないけど、薬のことを知ってもらうのにいい機会だと思うから。
・ やりたい！という気がないと、やる気がある人に失礼なので、絶対というとキツイと思うけれど、いい経験が積めるので続けるとよいと思う。
・ OSCE や実務実習の前に薬の専門家として市民の前に立つということを考えるきっかけとなるから。
・ 薬に関することが他の所では全く行われていなかったと思うので。
・ 一般の人にはどう説明したらいいか分かるから。

・ 医薬保健学域として一まとまりなのに、キャンパスも異なり、ふだん一緒に何かすることもないのでいい機会だと思った。
・ 一般の方々がどのように薬について考えているか知るのによい機会だから。
・ 思っていたよりもタメになります。
・ 結構楽しかったし、興味を持ってもらえたので、４年制も一緒でも別々の企画でもいいので参加するべきだと思いました。
・ 薬学以外の学類がどういうことをしているのかを少しでも知ることができたこと。
・ いろんな人と関わる機会がもてるから。
・ 一般の人 vs 薬学生として接する良い機会となってよい。みんなやってみると意外と楽しそうだったし。
・ お客さんへどうやって伝えたら分かってもらえるか、コミュニケーションのやり方を見直したり、勉強したりできるから。
・ 医学類がどんなことを学んでいるのか少しわかったし、キャンパスの様子を見ることができる。

回答（３）
・ やりたい人がやればいいと思います。
・ ほとんどが宝町キャンパスの人たちなので、薬学の人たちは建物のことがよくわからないし、居づらい。

無回答
・ 楽しかったけれど、準備期間が短すぎる。４月ぐらいから、４年制・６年制関係なく全員でいろいろ企画したり準備したりすれば、準備期間が長くなってもっと楽しめたと思う。

問６．自分たち以外の企画も見ましたか？　見た人は感想を聞かせて下さい。

（１）かなり見た（15 名・48%）　　**（２）少し見た**（13 名・42%）
（３）ほとんど見ていない（3 名・9.7%）　　**（４）まったく見ていない**（0 名・0%）

感想：
・ わかりやすく説明してあってよかった。いろいろ体験したり検査したり、ためになった。
・ 特にスタンプラリーが楽しかった。巨大迷路が少し遠かった。
・ いろいろな企画があってそれぞれが楽しかった。フレンドリーな感じで、よく興味が持てるような内容だったと思う。
・ 他の学部の人はこんなことをしているのだなぁと思って面白かった。
・ いつも体験できないことを体験できるのがよい。将来いっしょに働くかもしれない職業のことを知れてよかった。
・ 医学部の皆さんの熱意（命を救うために必須な情報を伝えようとする）がかなり伝わってきた。
・ 初心者でもかなりわかりやすく、楽しい企画がたくさんあった。
・ どれも専門的だったが、わかりやすく解説してもらえた。
・ 工夫がこらしてあり、興味深かった。
・ 楽しかったし、楽しそうだった。
・ 参考になったし、企画自体、体験できるものが多くて面白かった。

・ スタンプラリーがあったので、あまり興味のない企画も入ってみると意外に興味深かったりしたのでよかったと思う。
・ 完成度が高かった。
・ 色々おもしろい企画や他の学類がどのようなことをしているか知ることができてよかった。
・ 勉強になった。
・ レベルが高かった。
・ 体験型のブースはとてもよいと思った。
・ 実際に医療で使われている道具などが見られて楽しかったです。
・ 本格的だった。
・ よく工夫されていた。
・ とても力が入っていて面白かった。
・ 外科とか肺活量とかただの展示や発表みたいな一方的なものばかりではなくて、自分の健康状態とかについて色々知れて楽しい！
・ それほど多くはまわらなかったけど、自分の健康について測定できていい。
・ 他の学部の内容が少しわかった。

問７．今後改善したらよい点、こんな企画があればと思った点など自由に書いてください。

・ パンフレットだけじゃなくて看板等で場所が分かるようにした方がいいと思った。
・ 模擬病院と薬学ブースが離れており、もっとお客さんに足を運んでいただく必要がある。テンポよく、明瞭な実験があればいいなと思います（溶解の実験が意外とテンポが悪く、変化も少しわかりにくかった）。
・ ４年制（創薬科学類）の人も参加させた方がよいと思います。
・ もっと薬を身近に感じられるような雰囲気をつくればよいと思った。
・ 「薬の飲み合わせ」について、紙に印刷してほしい（持ち帰りたい）っていう要望があった。
・ 会場も前日にならないと分からないし、医学部で楽しんでいる感がやっぱりあったので、薬学部も参加するならもう少しいろんなことに関わりたいと思った。
・ 一部でプロの人ともお客さんが関われると信頼できるので、満足・安心して帰ってもらえると思います。
・ 景品に図書券があったら良かったです。
・ もう少し早めから準備できたらよいと思う。
・ むしろ教えてほしいです。
・ 今後実験をするなら、色の変化が分かるよう目で見てもらえること、また自分の健康に関わることがお客さんにとって身近でいいと思う。できたら、４年制の創薬科学類の人も参加するようにしたらいいと思います。実験はいつでもできるようにすればいい（タイムテーブルはつくらなくてもいい）。人が居すぎたり、入り口に人がいないと入りにくかったり、何やっているか分かりにくい。中には入口だけのぞいて入らなかった人もいた。
・ 実験はタイムテーブルで行うのを完全にやめて、即時来た人に対応してやるようにすべきだと思う。また、創薬科学類の人も参加すべきだと思う。